

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】

ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介

yosuke@wpjapan.com

【お願い】

本企画はリンク・転送フリーです。より多くの方に知っていただきたいので、ブログやSNSからのリンクやメールでの転送を歓迎いたします。ただし本案中のネーミング、概念、手法などにはワールド・プロジェクト・ジャパンおよび黒坂洋介の著作権が成立していることをご理解ください。リンクや転載あるいは引用される場合は、出典およびURL (<http://www.wpjapan.com/>) を明記してくださるようお願いいたします。ご不明の点はお問い合わせください。

はじめに

筆者はこの20年あまり、国際音楽祭、ジャズフェスティバル、オリンピック関連行事などの国際的
教育イベントの企画制作にたずさわってきました。特にジャズについては、アマチュアもプロも、
興行も教育も、国内も国際交流も含め、数多くのイベントをプロデュースし現場を経験しました。

自分がかかわったものも、あるいはその他の企画も含めて、ジャズフェスティバル運営の楽しさと
難しさについて、さまざまな角度から分析を試みてきました。それらのノウハウ、経験、人脈を通
じて、機会があれば21世紀にふさわしいユニークなジャズフェスティバルを作りたいと構想を
練っているところです。

本稿は、場所や時期を定めず「どこにもないジャズフェス」を作るとしたら、という試案の骨子を
まとめたものです。これをお読みになって興味を持たれた企業、自治体、バンド、既存イベント運
営者などがありましたらご一報ください。場所、時期、予算、バックアップ体制などを聞き取りし
たうえで、カスタマイズした企画としてプレゼンテーションさせていただく用意があります。

ワールド・プロジェクト・ジャパン

代表 黒坂洋介

yosuke@wpjapan.com

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】
ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介
yosuke@wpjapan.com

目次

はじめに	1
目次	2
企画者プロフィール	3
し・み・つの法則	4
しぼる みせる つながる	
具体化のプロセス	
1. 「誰を」ではなく「なぜ」	5
2. 旭山動物園の事例	
3. メロディを切り口に	
4. イベント名について	6
5. ショウの構成例	
a. ワールドプレミア	
b. ビバスタンダード	
c. エナジーラッシュ	
d. バードフォレスト	
6. 聞くから作るへ	7
7. インターネットの戦略的活用	
8. ダJAれZZ!	
主催者募集	8
アンケート項目	

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】

ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介

yosuke@wpjapan.com

企画者プロフィール

黒坂洋介（くろさかようすけ）

デジタル・フェスティバル・プロデューサー。インターネットを戦略的に活用した教育的音楽イベントの企画と運営を専門に手がける。

合奏音楽のための国際プロダクション「ワールド・プロジェクト・ジャパン」代表。シドニー五輪や北京五輪の国際選抜楽団企画を手がけるほか、ハワイの「環太平洋音楽祭」、オーストラリアの「シドニー・オペラハウス国際音楽祭」、カーネギーホール「ニューヨーク国際音楽祭」など、青少年の国際交流イベントに多くの実績を持つ。

中高生吹奏楽団および大学ジュニアバンドのためのジャズフェスティバル「ステラジャム」や金管講習会「タングマジック」をプロデュース。インターネットを積極的に活用したイベントを通じて音楽教育に力を入れている。

1991年～2001年の11年間、石川県七尾市の「モンレー・ジャズ・フェスティバル・イン能登」の企画制作にかかわり、日米の国際交流事業をサポート。同フェスティバルの一環として全日本社会人ビッグバンド・コンテスト「能登ジャズ・ウォーズ」を企画。ほぼ同時期に北海道倶知安町「くっちゃんジャズ・フェスティバル」、岡山県倉敷市「倉敷サマージャズ・フェスティバル」などとも協同。

2001年～2003年にインターネット放送局JJazz.Net（ジェイジャズ・ネット）に参画。東京ディズニーリゾートを舞台とした「マジック・ジャズ・タウン/イクスピアリ2002」をプロデュース。ネット放送とジャズイベントの融合について数々の実験を試みた。

1991年にトランペット奏者メイナード・ファーガソンから呼吸の重要性を説かれたことをきっかけに、楽器奏者向けの呼吸法研究を始める。各種呼吸法のセミナーや道場で学びつつ、ヨーガ、中国伝統気功、運動科学などを十数年にわたり修める。2002年独自の勉強会をスタートし学習体系を確立。その理論をベースに音楽家のための心身エクササイズを開発する。演奏者向け呼吸法「ウォーター&プレス」の指導、音楽家のための意識操作エクササイズ「ねこ気功」などの教育イベントも企画。吹奏楽指導者向け呼吸法教え方セミナー「プラスの呼吸」を主宰。水行末（すいぎょうまつ）のペンネームで、寿限無老師（じゅげむろうし）との対談連載や、ねこ気功ソングのプロデュース、さらにmixi、twitter、Facebook、Google+、雑誌、著書においてウォーター&プレスやねこ気功の普及につとめている。

●著書

呼吸を変えれば音楽は変わる！～重力と筋骨の関係を改善し合奏に生かすプレスエクササイズ～
ねこ気功のある生活～こまめに疲れをとるために～

●プロデュースしたCD

快眠☆ねこ気功

●杉山正氏との共著

フレックス・タング・ビルド

ハイ・エア・ビルド

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】
ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介
yosuke@wpjapan.com

し・み・つの法則

- しぼる： アピールするポイントを絞り込む。
- みせる： ビジュアル化する。
- つながる： デジタル技術を駆使してソーシャル化する。

しぼる

小さなことでもいいから「世界一」の要素を持つ。なにかひとつを選択し、それに集中することが、このジャズフェスをひと言で説明できる特徴となる。その特徴が「そこでしか体験できない」特殊性を作り出す。選択した要素以外の大胆な切り捨てが必要となる。

みせる

情報発信において視覚的要素は大きな意味を持つ。音楽は聴覚に訴える芸術であるため、ビジュアル化するためにはひとくふう必要となる。テーマをビジュアライズすることで、発信した情報が二次発信、三次発信をくり返しやすい環境が整う。

つながる

インターネットを戦略的に活用する。特にSNSを計画的に利用し、コンテンツの複製、リンク、編集、転送、増殖を生成する。

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】
ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介
yosuke@wpjapan.com

具体化のプロセス

1. 「誰を」ではなく「なぜ」

ジャズフェスティバルのブッキングを考えると、

誰を出演者として呼ぶか（人選）

よりも大切なことがある。それは

なぜその人を呼ぶか（人選の基準）

である。出演者は毎年変わりながら、そのフェスティバルが独自のアイデンティティを維持するためにこの視点は欠かせない。「人選の基準」こそがフェスティバルの顔であり個性である。そこに魅かれて聴衆が集まる。

2. 旭山動物園の事例

北海道旭川市に旭山動物園という廃園寸前に追い込まれた小さな動物園があった。しかし「行動展示」という独自の視点を導入することで、東京の上野動物園を上回る来場者数を記録。日本国内だけではなく海外からも数多くの観光客が訪れる注目のスポットとなった。この事例に、地理的・経済的ハンディキャップを乗り越えるヒントが凝縮されていると考える。つまり

そこにしかないものを作る

ということであろう。「小さな世界一」を産み育てることの意味はここにある。

3. メロディを切り口に

ここではひとつの試みとして

世界でもっともメロディの美しいジャズフェスティバルを作る

というプランを考える。メロディという一点にフォーカスすることがこのフェスティバルのキュレーション（※）として、ネットをはじめとするメディア上での話題作りや演出に活用される。

※キュレーション（curation）とは、無数の情報の海の中から、自分の価値観や世界観に基づいて情報を拾い上げ、そこに新たな意味を与え、そして多くの人と共有すること。

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】

ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介

yosuke@wpjapan.com

4. イベント名について

「地名+視覚的なもの+年号+キャッチフレーズ」を基本とする。たとえば東京で開催する場合のネーミング案をあげる。

TOKYO HUMMINGBIRD 2012

The Best Melody Jazz

東京ハミングバード2012

世界でもっともメロディの美しいジャズ

※HUMMINGBIRD (ハミングバード=ハチドリ) :

ハチドリをキャラクターとして設定。モダンジャズの父チャーリー・パーカーの愛称バード (bird) と、メロディを暗示するハミング (humming) から。

5. ショウの構成例

世界でもっともメロディの美しいジャズフェスティバルという基本方針を具現化するために、以下のようなプログラム (例) を構成する。

a. ワールドプレミア :

世界初演の書き下ろしビッグバンド曲を発表する場。作曲家に対してはきわだってメロディが美しい曲の制作を依頼しておく。作曲家本人が指揮・演奏を行ない、そのもようはUSTREAMを通じて全世界に配信される。演奏はHUMMINGBIRD JAZZ ORCHESTRA (特別編成のプロ)。

b. ビバスタンダード :

スタンダードのボーカル曲を聞かせる。数名の歌手が次々に登場。曲はよく知られた「メロディの美しい曲」を選ぶ。アレンジはオリジナルのもの。伴奏はHUMMINGBIRD JAZZ TRIO (特別編成のプロ)。

c. エナジーラッシュ :

エネルギーのほとばしり。中高生を中心とした若者バンドが出演。ここでも「メロディの美しい曲」を演奏するよう出演団体に依頼。

d. バードフォレスト :

フェスティバルのテーマである「美しいメロディ」は1.5時間~2時間におよぶメインショーとしても上演される。アーティストの選定も、選曲も、すべて「世界でもっともメロディの美しい」というコンセプトにふさわしいものとする。ヨーロッパから1団体、アメリカから1団体、日本から2団体、合計4グループのプロミュージシャンが出演することを想定。

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】

ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介

yosuke@wpjapan.com

6. 聞くから作るへ

プレイヤーは最高のリスナーである。したがってアマチュア演奏者をうまく巻き込む仕掛け作りが求められる。また一般聴衆もフェスティバルへ受動的に関わるのではなく、能動的なサポーターとして来場していただきたい。キーワードは「参加」。

※参加型イベントについては主催団体の状況をヒアリングしたうえで具体案を作成します。

7. インターネットの戦略的活用

- a. ストックとしてのウェブサイト
- b. フローとしてのSNS
- c. ソーシャル作戦

※ネット戦略については主催団体の状況をヒアリングしたうえで具体案を作成します。

8. ダJAれZZ!

ネットや既存メディアへの露出や口コミを拡大する手法のひとつとして、駄洒落の持つ「感染力」に着目する。ジャズ（あるいは音楽）に関係した駄洒落を募集する。

例) シナチクの大好きなジャズ歌手は？

カー！メンマくれえ！

※出典：早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラOB会報「ばっくすていじ」

実際、静岡県富士宮市が「やきそば」で町おこしする過程で「ご当地グルメの存在を如何に多くの人に伝えるかが重要」「イベントだけでなく日常業務も報道してもらえるように、駄洒落やおやじギャグを盛り込んだ話題づくりが効果的」であるとして、計画的な情報発信を心がけたという。

本企画においては、ジャズがらみの駄洒落を「ダJAれZZ」と呼び、ゆくゆくは「ダJAれZZOO（ダジャレズー＝ジャズ駄洒落の動物園）」として視覚化することまで視野に置いている。SNSなどネット上に「ダJAれZZページ」を作って広く参加を呼びかける。そしてジャズフェスティバルにはオフ会としての意味を持たせる。

どこにもないジャズフェスを作る話

【本企画へのお問い合わせは】
ワールド・プロジェクト・ジャパン 黒坂洋介
yosuke@wpjapan.com

主催者募集

あなたの街に「どこにもないジャズフェス」を作りましょう。

- 1.下記アンケート項目に回答のうえメールで返信ください。
- 2.あなたの街をモデルにしたサンプル企画を作成し、ワンシート企画書でお送りします（無料）。
- 3.内容をご覧になって興味をお持ちいただけましたら実際にお目にかかって意見交換させてください。

アンケート項目

- 1.氏名、所属組織、役職、連絡先
- 2.都道府県、市町村
- 3.ジャズフェス運営の経験（「なし」／「あり」の場合は年数など）
- 4.（3.が「なし」の場合）→ジャズフェスを開催しようとする動機
（3.が「あり」の場合）→これまでの課題
- 5.地元のアマチュアジャズバンドの活動状況
- 6.地元のライブハウスの活動状況
- 7.地元の吹奏楽団の活動状況
- 8.これまでに地元で演奏したプロジャズアーティスト例
- 9.新しいジャズフェスの運営団体の構想（構成メンバーなど）
- 10.地元の特産品、花、動物、食べ物、祭り、人物、名所など。
- 11.その他アピールしたいこと

以上。